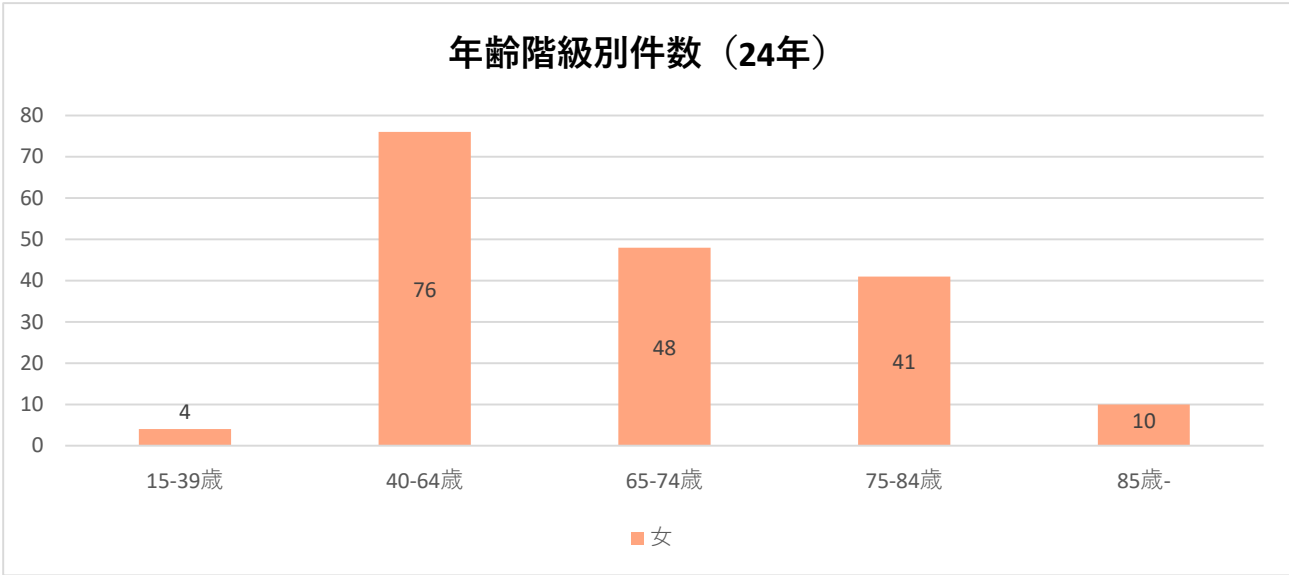
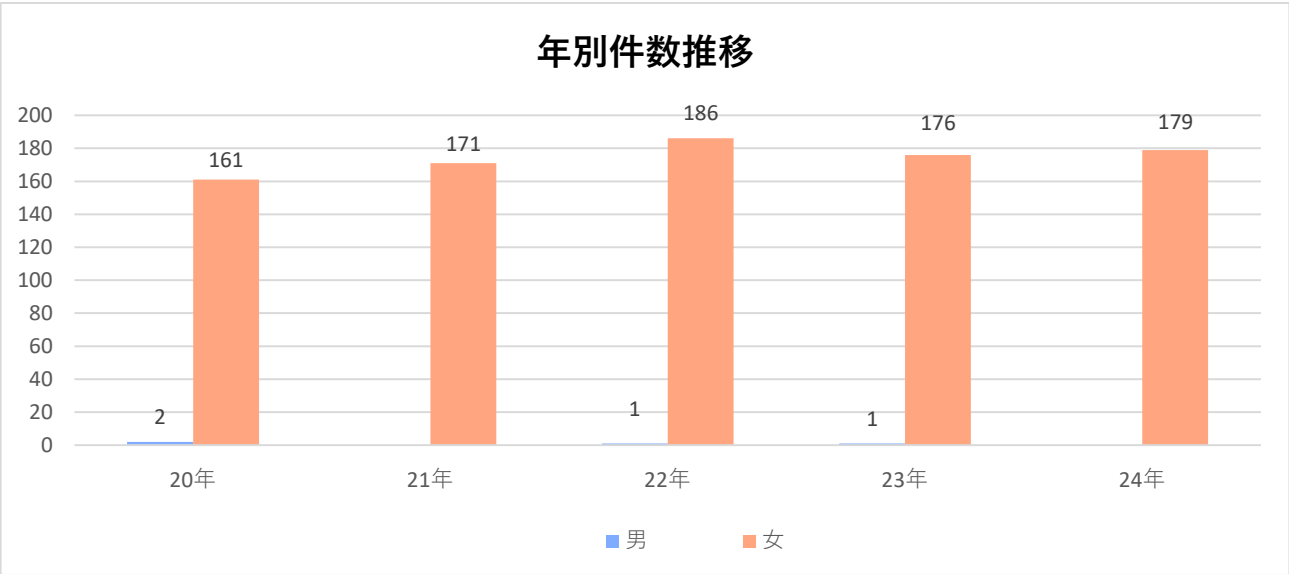


Ⅱ. 2024年集計＜部位別＞

4. 乳房

乳房に発生したがんを対象に、年別件数推移は直近5年間、年齢階級別件数は24年単年、主な紹介元先は直近5年間でグラフおよび表を作成した。
年別件数推移は22年まで増加したが、23年以降は180件弱で推移している。
年齢階級別件数は40-64歳が最も多かった。



主な紹介元

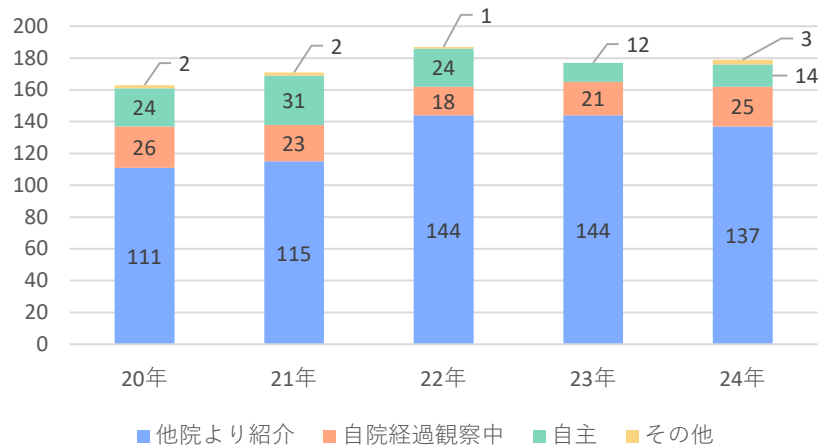
施設名	20年	21年	22年	23年	24年
札幌ことに乳腺クリニック	43	57	58	57	43
さっぽろ麻生乳腺甲状腺クリニック	13	13	20	10	8
溪仁会円山クリニック	1	0	1	12	6
札幌駅前しきしま乳腺外科クリニック	3	3	4	1	6
手稲家庭医療クリニック	4	2	2	0	4

主な紹介先

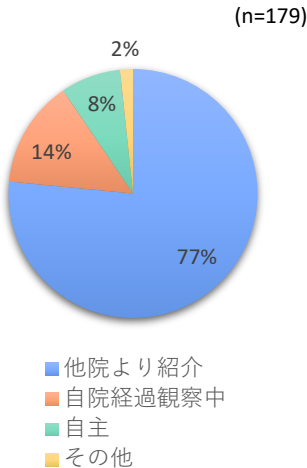
施設名	20年	21年	22年	23年	24年
札幌ことに乳腺クリニック	27	26	31	30	26
北海道がんセンター	2	3	1	16	13
さっぽろ麻生乳腺甲状腺クリニック	13	12	18	7	7
札幌乳腺外科クリニック	7	8	6	4	6
北海道大学病院	2	0	10	14	5

来院経路・発見経緯・症例区分について、直近5年の件数と24年単年の割合でグラフを作成した。
来院経路は「他院より紹介」、発見経緯は「自主・不明」、症例区分は「自院診断・自院治療開始」が最も多かった。

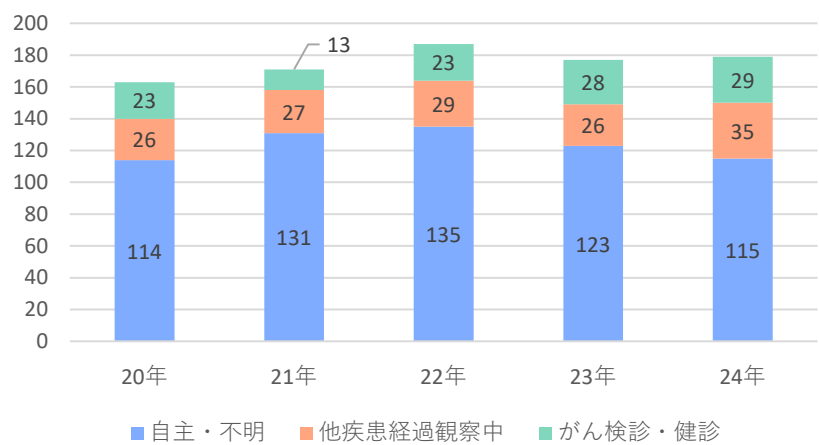
来院経路別件数



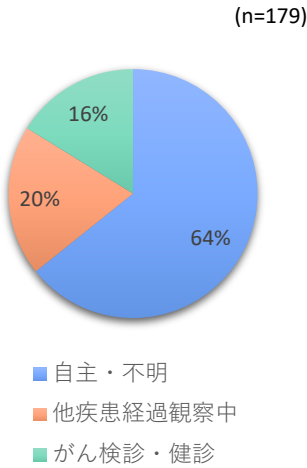
来院経路別割合（24年）



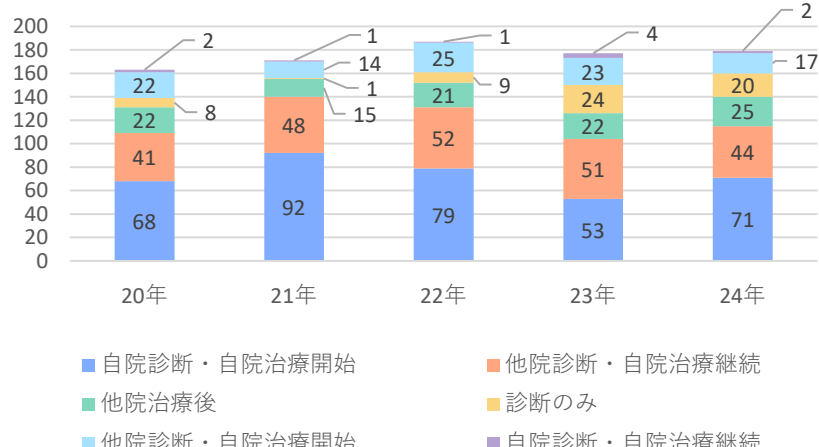
発見経緯別件数



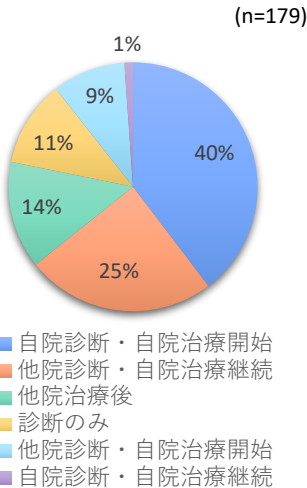
発見経緯別割合（24年）



症例区分別件数



症例区分別割合（24年）



治療前・術後ステージ別割合について、直近5年間のデータでグラフを作成した。

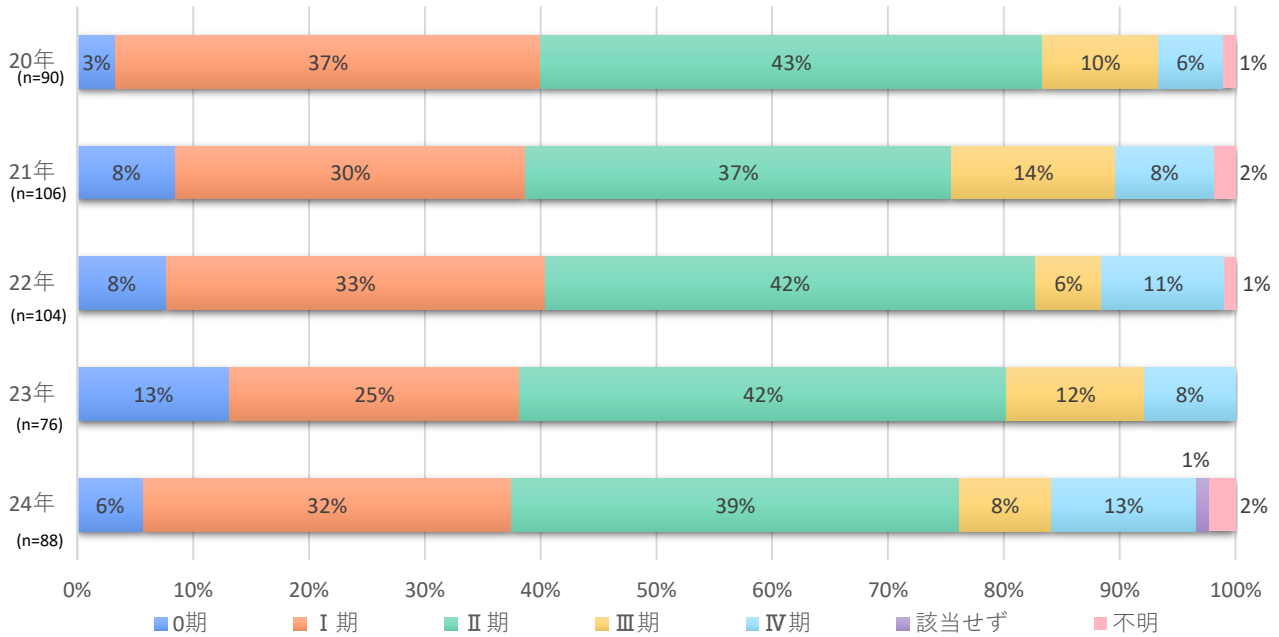
治療前ステージでは、24年に「Ⅰ期」と「Ⅳ期」が増加していた。

術後ステージでは、全ての年で「術前治療後」が最も多く、また24年では「Ⅱ期」が増加していた。

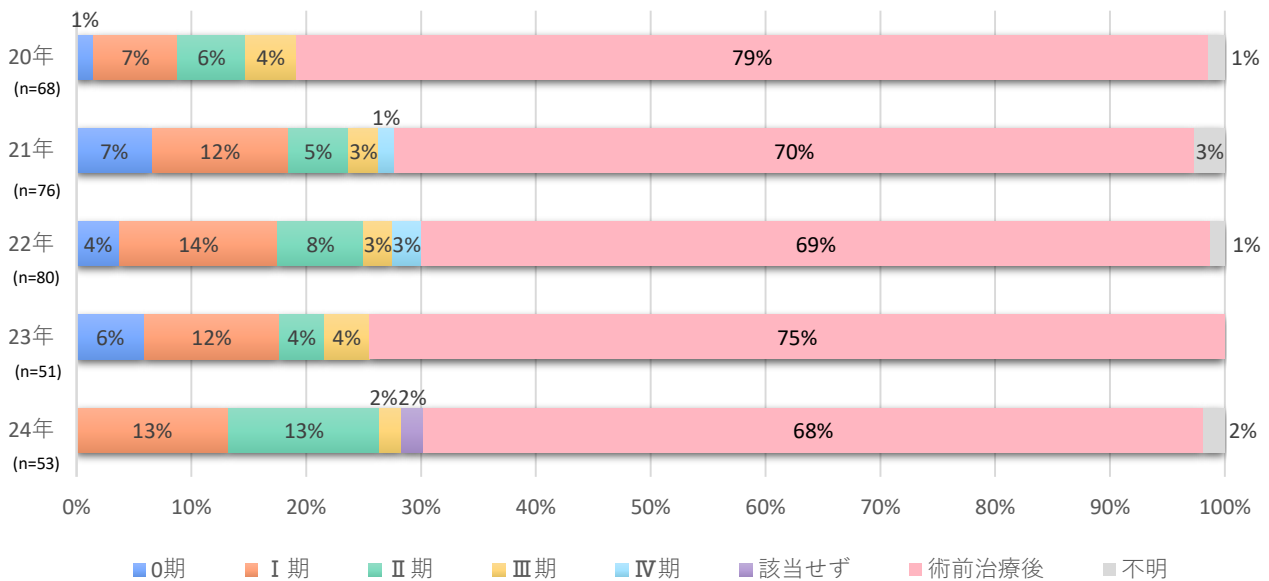
※「該当せず」には、組織型がUICC第8版に該当しない症例が含まれる。

※「術前治療後」には、術前に化学療法や内分泌療法で病変を小さくしてから手術した症例が含まれる。

治療前ステージ別割合



術後ステージ別割合(病理学的)



総合ステージ別に初回治療で実施した治療内容の割合について、24年単年で作成した。
 0期では該当症例が3症例で、1症例ずつ治療内容が異なっていたため同率の割合だった。
 I期～II期では「薬物療法のみ」と「手術/内視鏡+薬物」が多く、IV期は「薬物療法のみ」が最も多かった。
 ※「該当せず」には、組織型がUICC第8版に該当しない症例が含まれる。
 ※「治療なし」には、無症状や高齢である等の患者状態により、経過観察を選択する症例が該当する。

